

---

# 2019年3月期 第2四半期 決算説明会

---

株式会社クロスキャット

2018年11月21日



Copyright (C) 2018 Cross Cat Co.,Ltd All Rights Reserved

# 2019年3月期 第2四半期 決算の概要

---

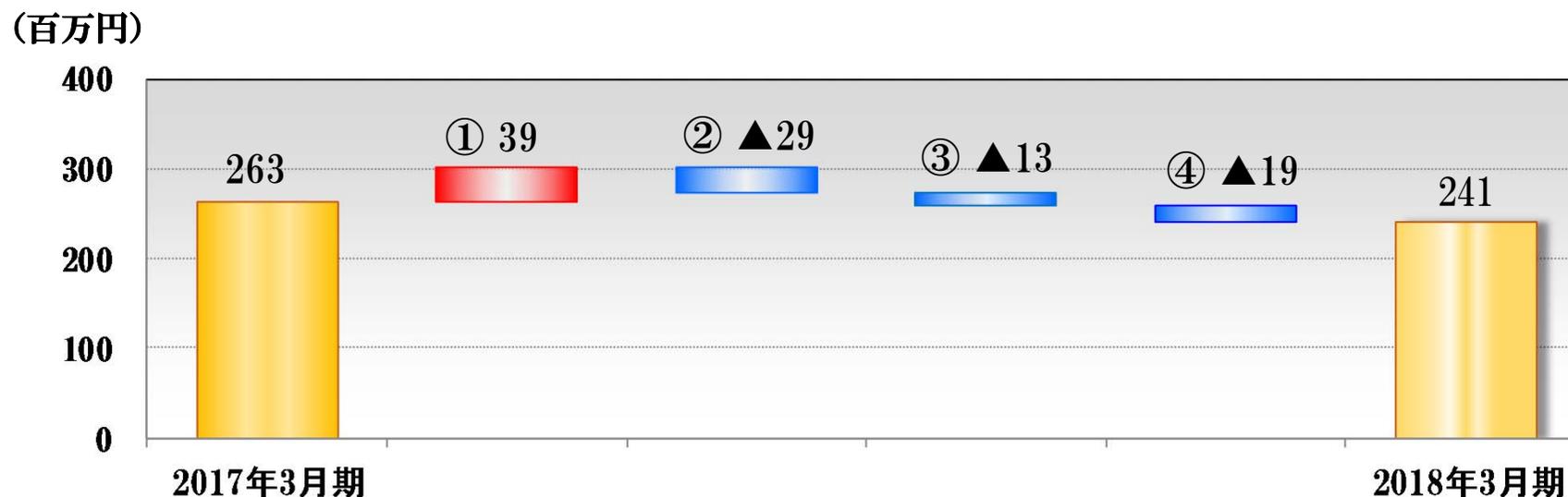


## 2019年3月期 第2四半期 決算の概要 (連結)

(百万円、%)

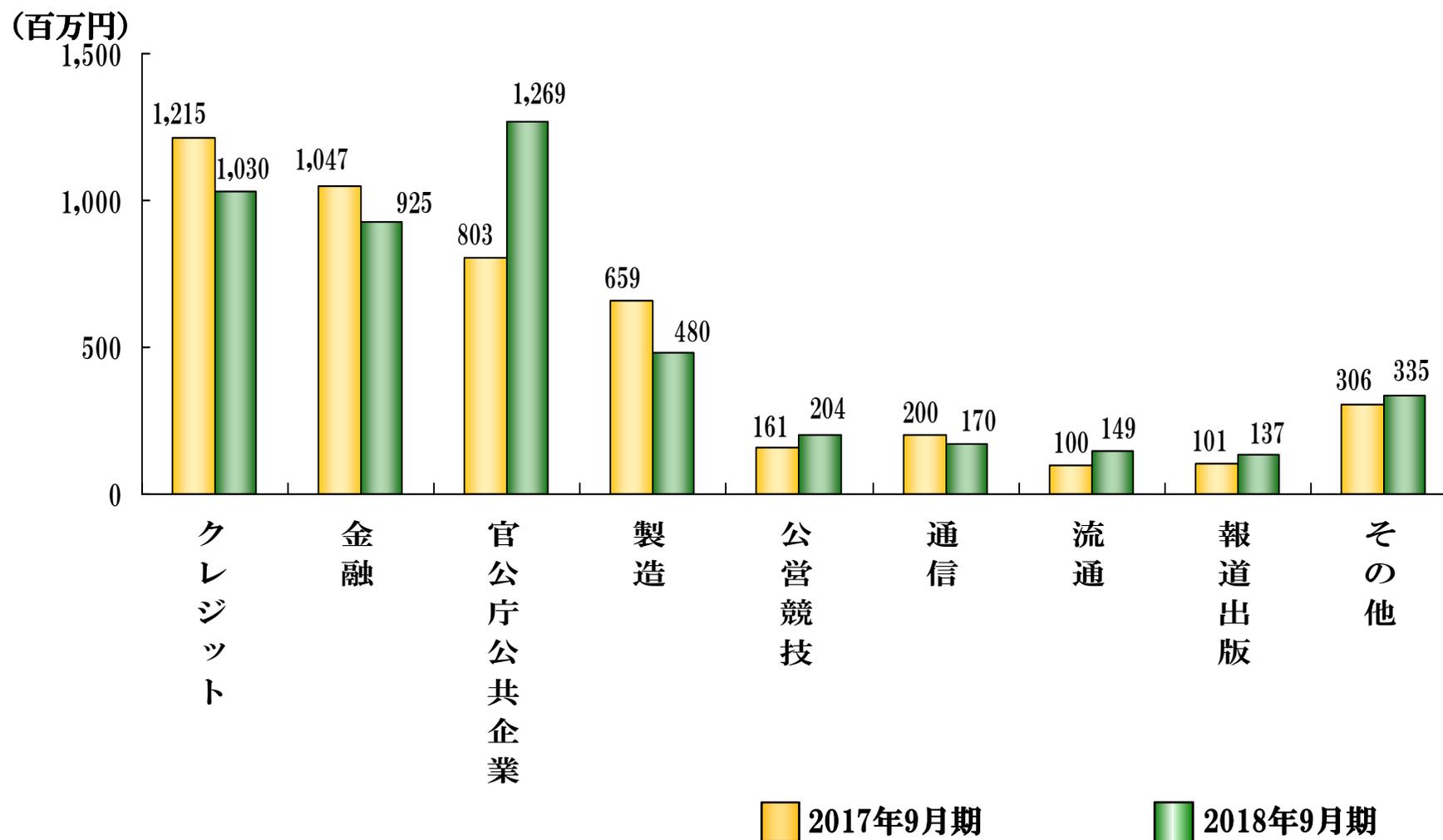
	2017年9月期		2018年9月期					
	実績		期初予想		実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比	予想比
売上高	4,596	100.0	5,018	100.0	4,703	100.0	2.3	▲6.3
売上総利益	1,015	22.1	1,110	22.1	989	21.0	▲2.5	▲10.8
販売管理費	751	16.3	790	15.7	748	15.9	▲0.5	▲5.3
営業利益	263	5.7	320	6.4	241	5.1	▲8.4	▲24.5
経常利益	282	6.1	340	6.8	260	5.5	▲7.7	▲23.4
当期純利益	181	3.9	250	5.0	219	4.7	21.2	▲12.2

## 営業利益の増減要因分析（対前年同期比）

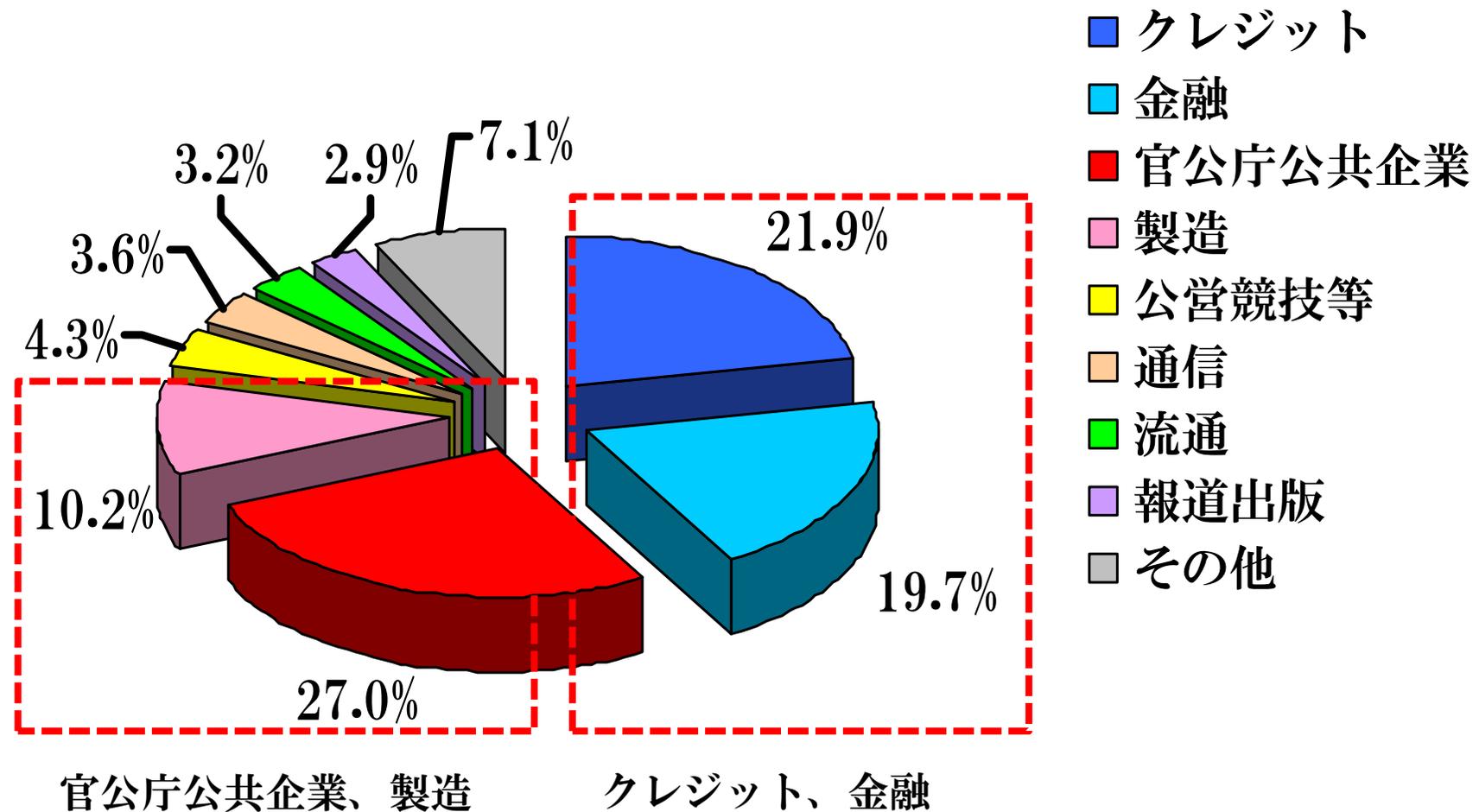


- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| ① 売上高増加に伴う増益 (XCAT)       | 39百万円   |
| ② プロジェクト収支の低下による減益 (XCAT) | ▲ 29百万円 |
| ③ 販管費の増加 (XCAT)           | ▲ 13百万円 |
| ④ 子会社の影響 (XUIS)           | ▲ 19百万円 |

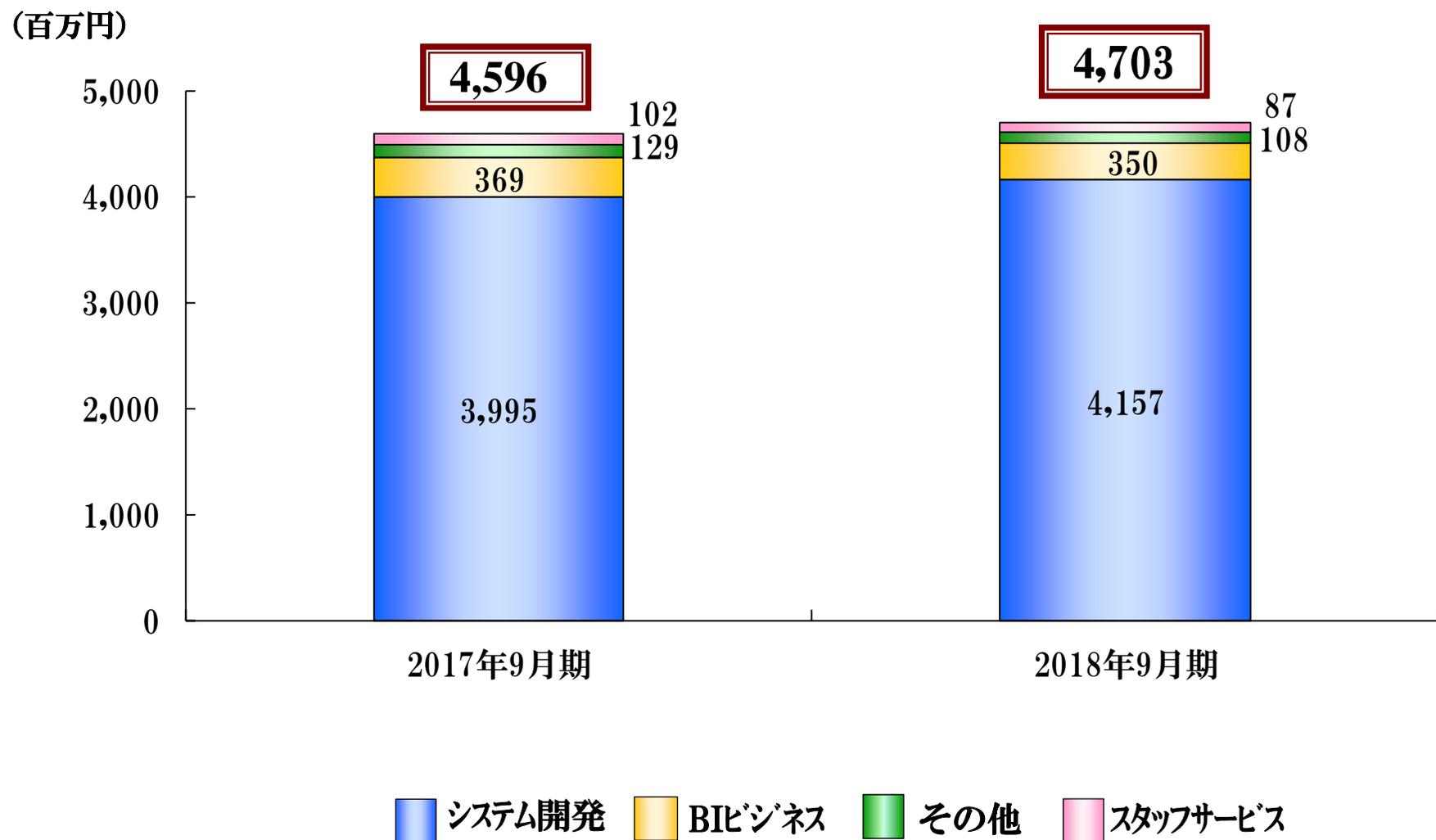
# 業種別売上高



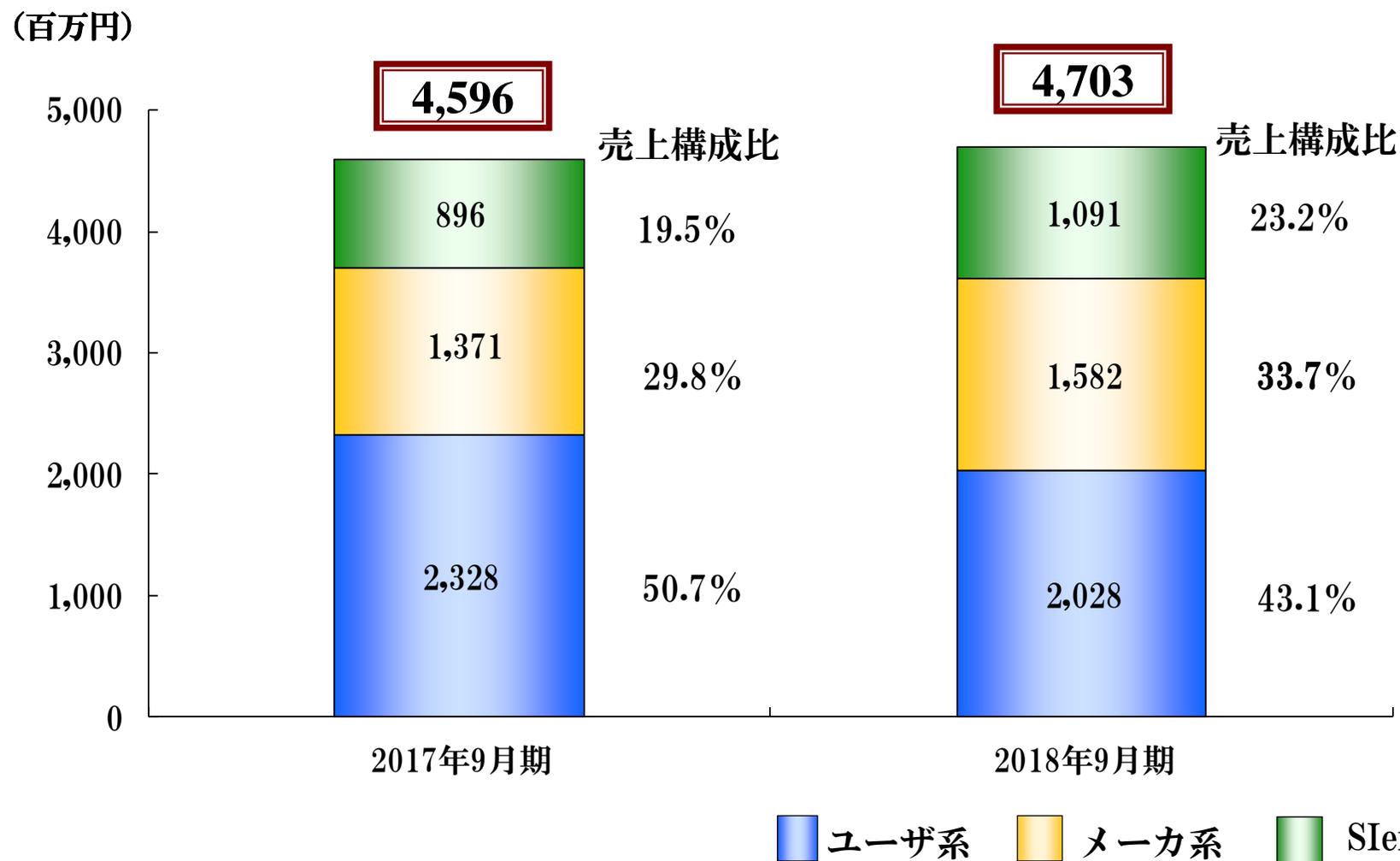
# 業種別売上高 構成比



# 事業別売上高



# 契約先別売上高



# 2019年3月期の見通し

---

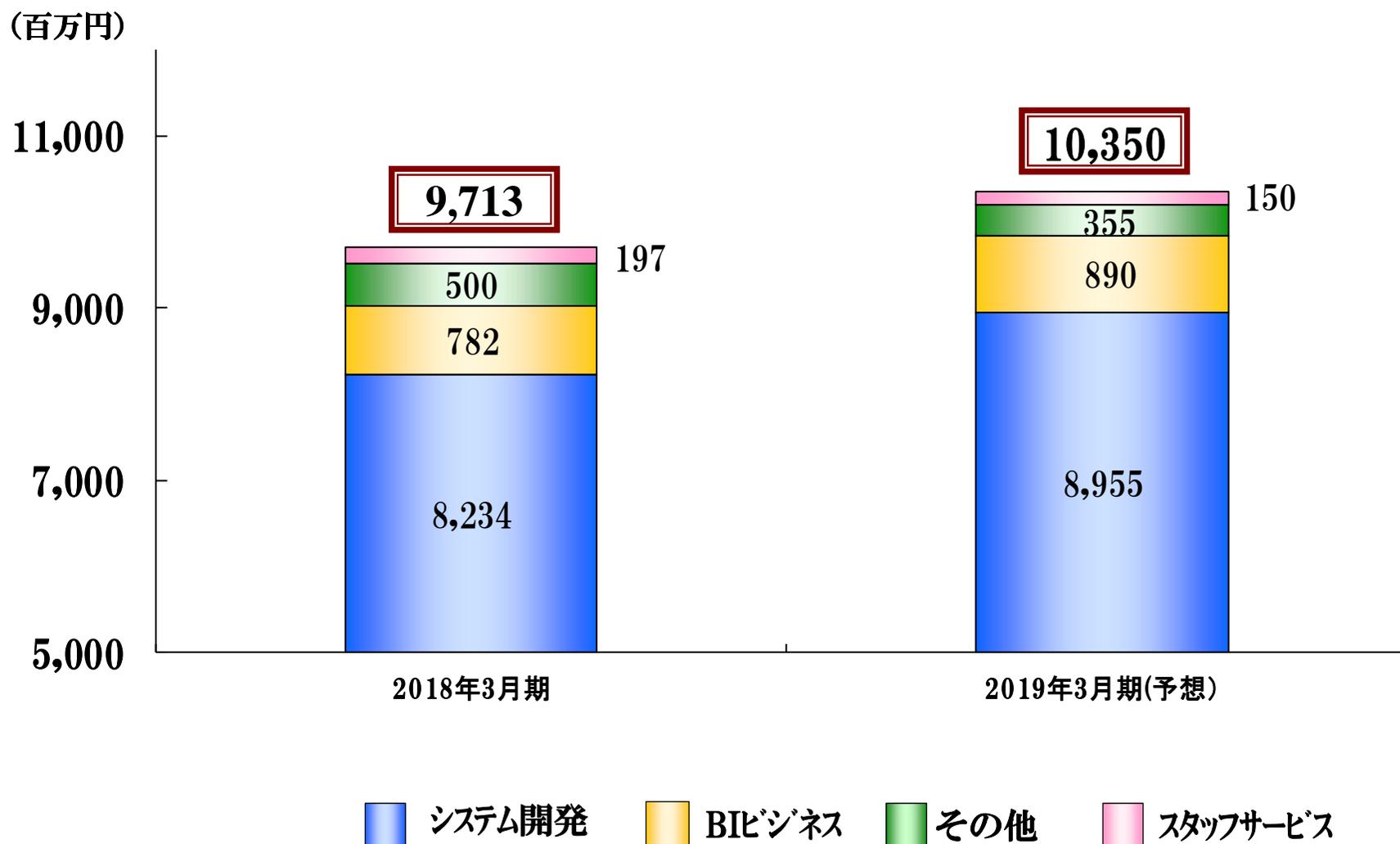


## 2019年3月期 業績予想（連結）

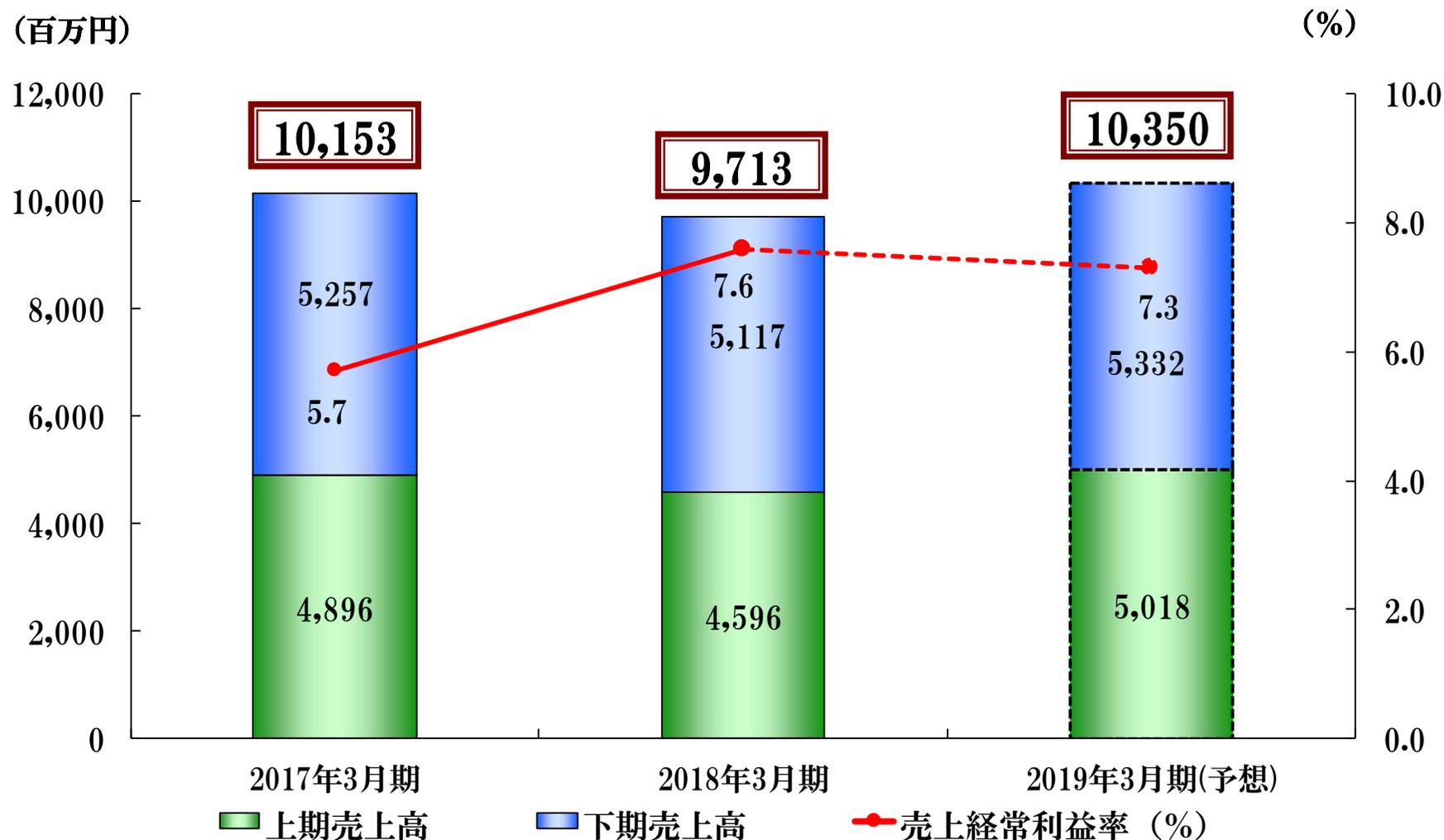
（百万円、％）

	2018年3月期		2019年3月期（予想）		
	金額	売上比	金額	売上比	増減比
売上高	9,713	100.0	10,350	100.0	6.6
売上総利益	2,102	21.6	2,215	21.4	5.4
販売管理費	1,397	14.4	1,485	14.3	6.3
営業利益	704	7.3	730	7.1	3.6
経常利益	739	7.6	760	7.3	2.7
当期純利益	473	4.9	510	4.9	7.7

## 事業別売上高（通期予想）



# 売上高、経常利益率の推移



# 中期経営計画の取組み



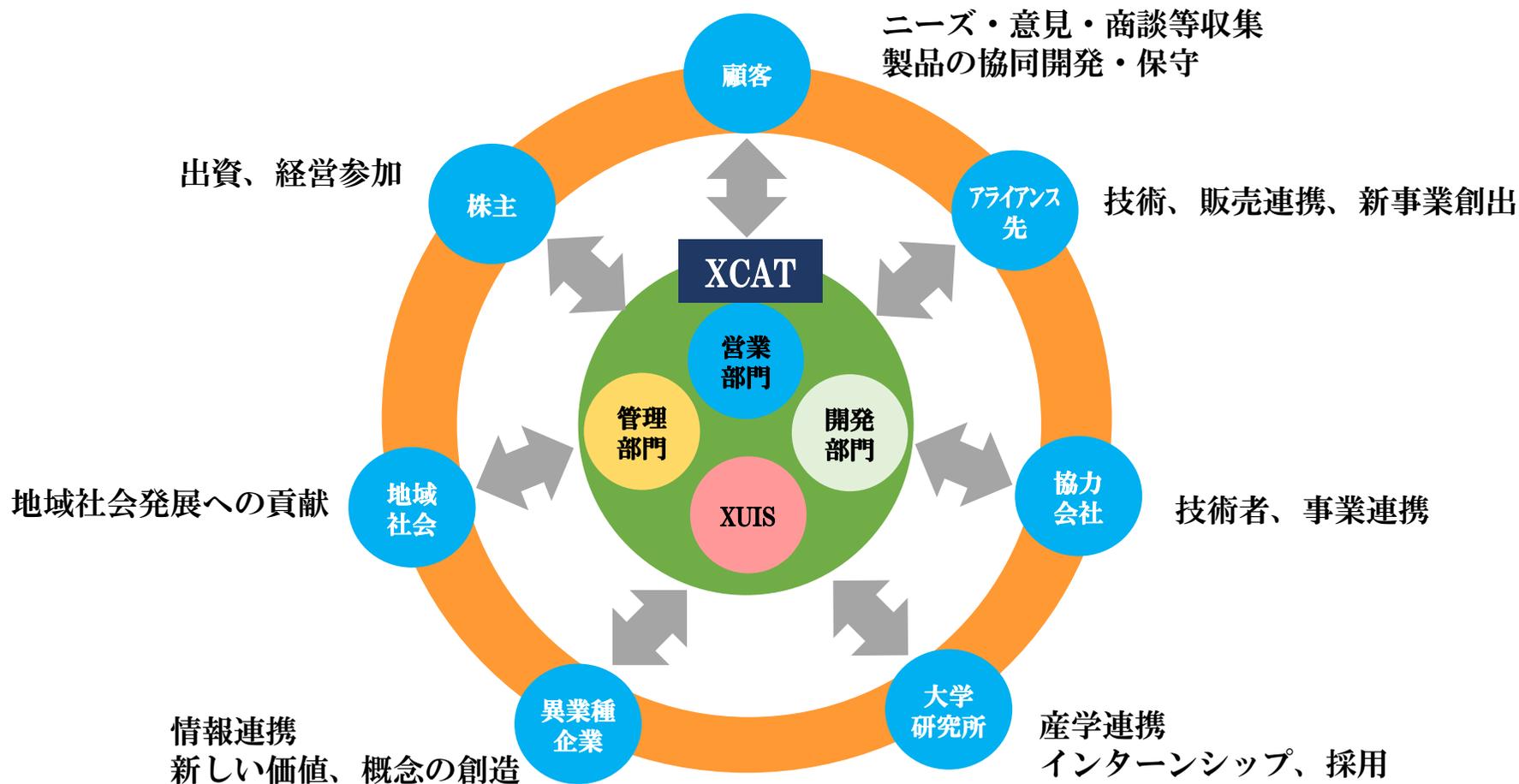
## 中期経営計画

# Collaboration Hub 2020

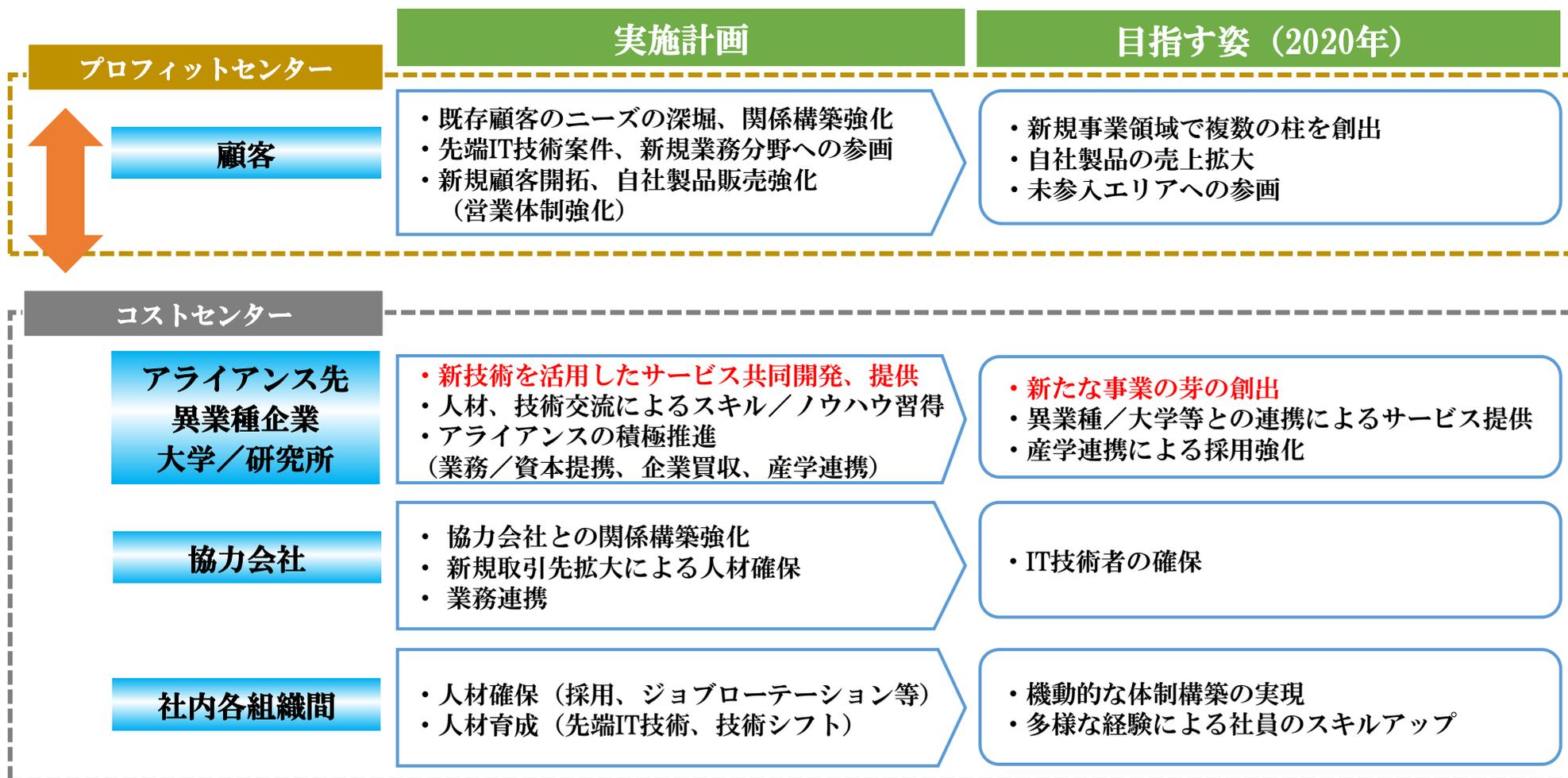
- 付加価値協創企業を目指して -

様々なステークホルダー(お客様、従業員、協業企業等)と協創し  
柔軟な発想で、新たな付加価値創造を行い  
様々なパートナーシップのHub (中心軸) 企業としての役割を推進する

# コラボレーション戦略



# 主なコラボレーション



# 当社の取り組みについて

---



## 働き方改革とは

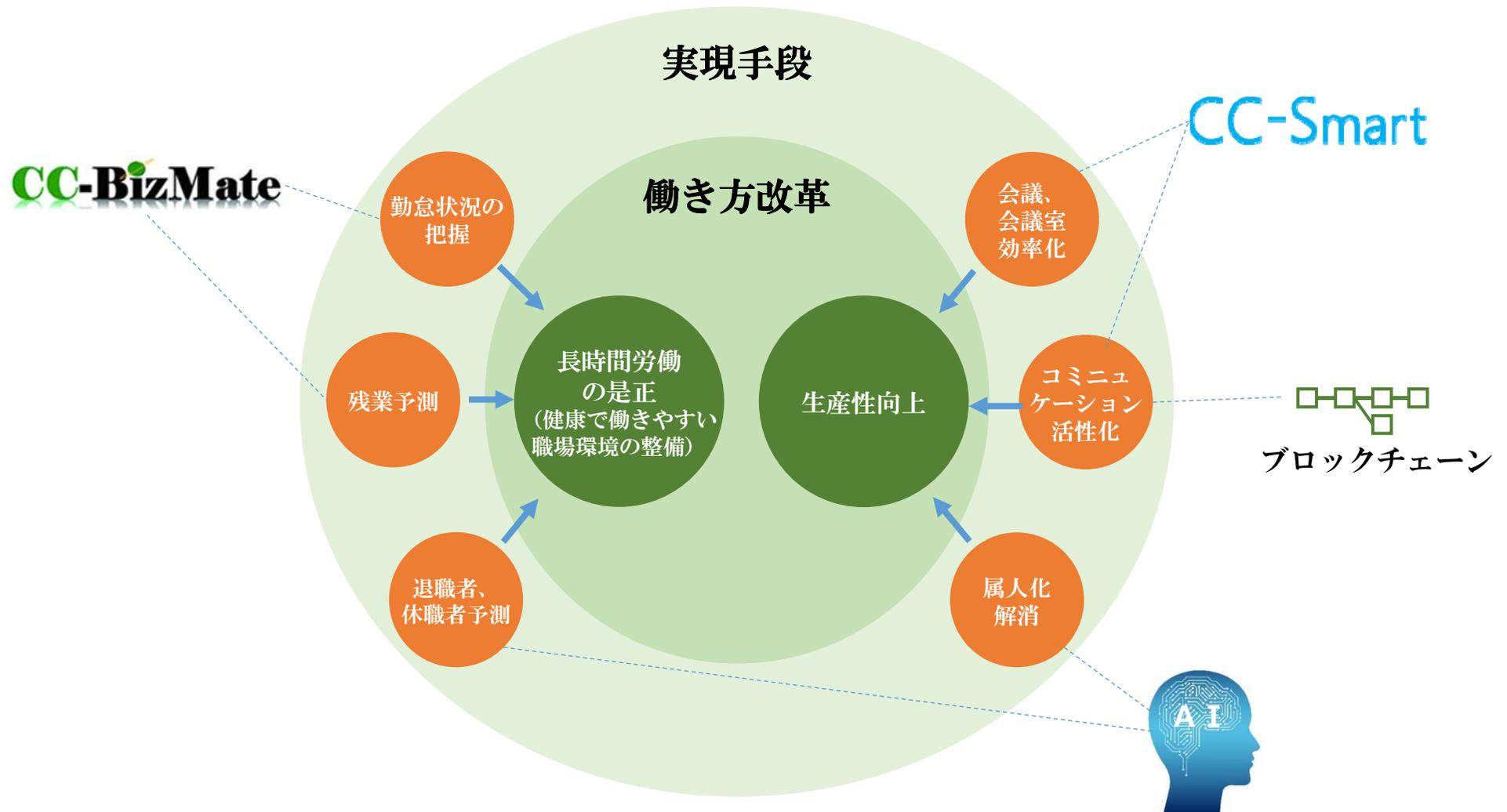
日本経済再生に向けて、最大のチャレンジは働き方改革。働く人の視点に立って、労働制度の抜本改革を行い、企業文化や風土も含めて変えようとするもの。働く方一人ひとりが、より良い将来の展望を持ち得るようにする。

働き方改革実行計画（概要）  
平成29年3月28日  
働き方改革実現会議決定



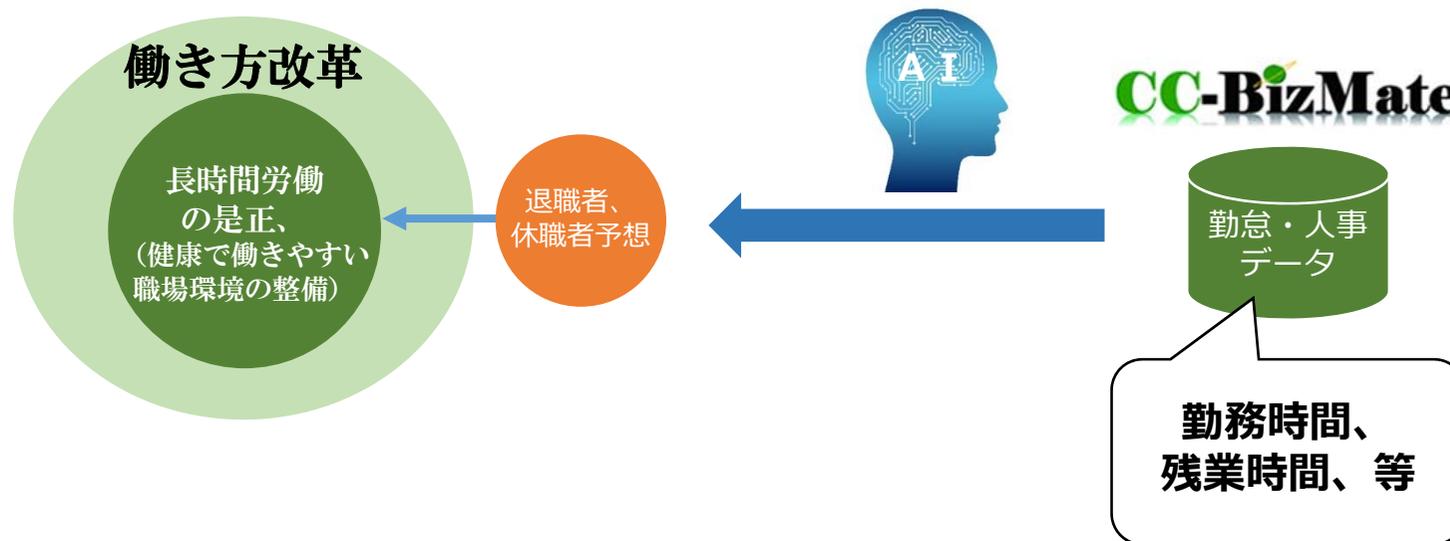
働き方改革 = 「労働制度の改革」 「企業文化・風土の改革」

# 働き方改革を中心としたクロスキャットの取り組み



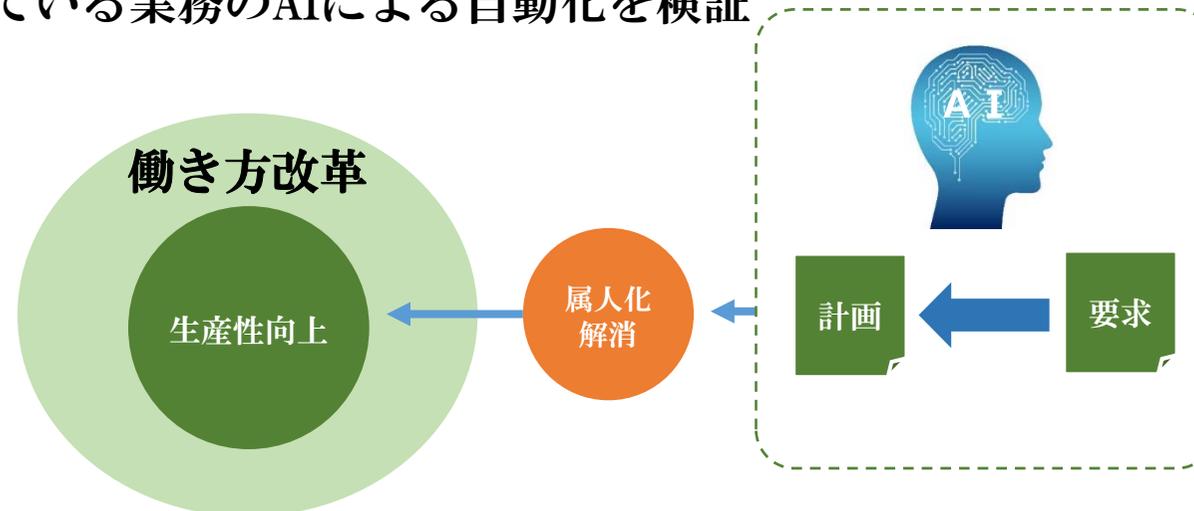
## 2018年度 AIに関する取り組み (実績)

- 勤怠データをベースとした休職者・退職者予測 検証
  - 勤怠データをベースに、休職、退職者を予測できないか自社で検証。  
8割程度の的中率が確認できた。



## 2018年度 AIに関する取り組み (予定)

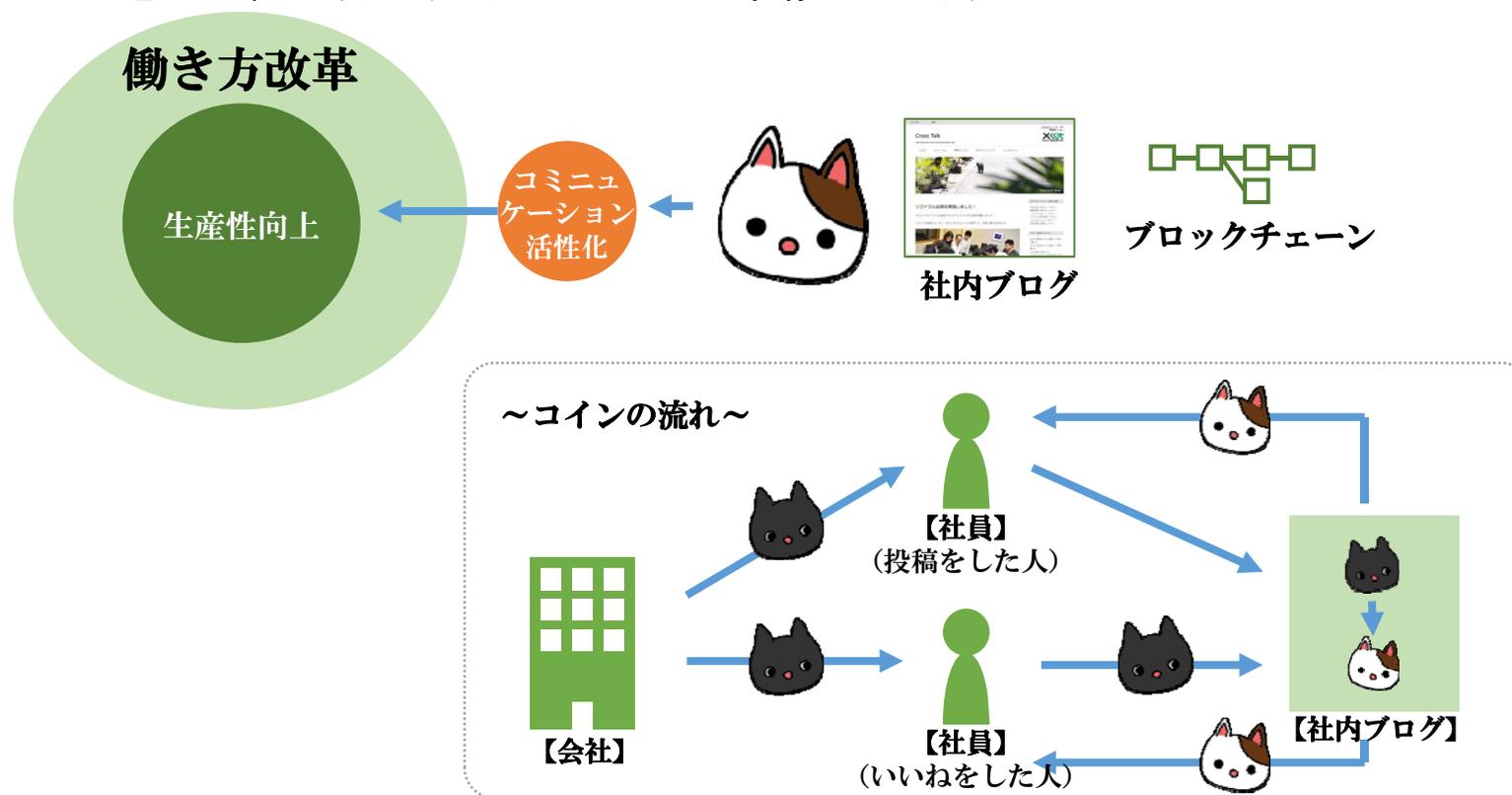
- 勤怠システムデータをベースとした休職者・退職者予測
  - 社内導入に向けた検討
  - 対外サービス化に向けた検討
- 某社とのAI POC (予定)
  - 属人化している業務のAIによる自動化を検証



## 2018年度 ブロックチェーンに関する取り組み（実績）

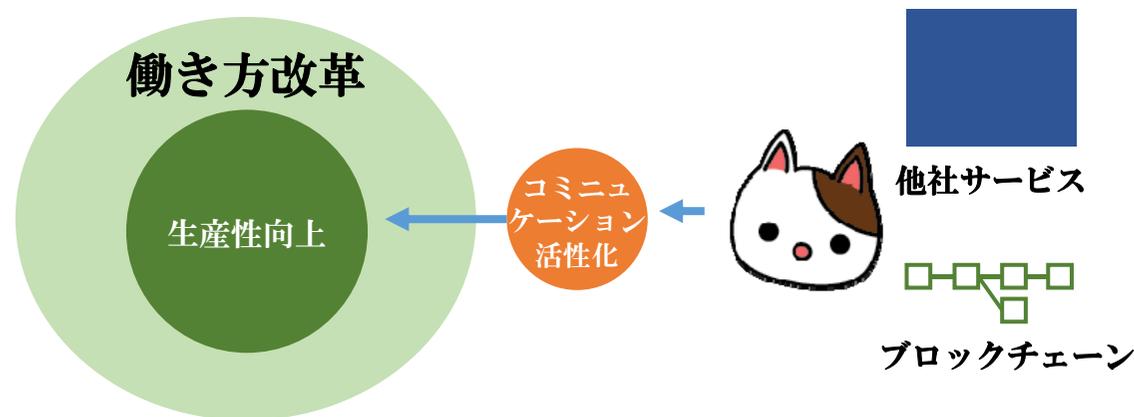
- いいネコイン（社内コインサービス）の開発

- 社内ブログの「いいね」を通じて、ブロックチェーン上のトークン「いいネコイン」をやり取りするサービスを開発。10月1日リリース



## 2018年度 ブロックチェーンに関する取り組み（予定）

- いいネコイン（社内コインサービス）の運用および対外サービス化に向けた検討
  - いいネコインの運用を行いながらユーザーの声、ニーズを集める
  - 対外的なサービス化に向けた検討を開始。年度内に開発着手を目指す



\* 本資料についてのご注意

本資料は、当社の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。